

1 1月の保育目標

<年少組> ねらい：木の実や落ち葉など、秋の自然を見たり触れたりして興味を持つ

健康：気温の変化や活動に合わせて衣服の調節を行う 鼻水を自分でかむ習慣を付ける
的やゴールに向かって、ボールを投げたり蹴ったりして腕や足の力を鍛える

人間関係：作品展を通して、友だちと一緒に協力して制作し、達成感を味わう

環境：物を丁寧に扱ったり片付をし、大切に使おうとする

言葉：したい事やしてほしい事を言葉で表現したり、わからないことを尋ねたりする

表現：感じた事、考えた事などを自由に描いたり作ったりする

<年中組> ねらい：友だちと共通のイメージを持って遊び、自分の考えを伝えたりしながら
友だちとの繋がりを深める

健康：手洗いうがいをこまめにして、感染症を予防し、健康的に過ごす

走りながら方向を変えたり、止まったり、自分の体をコントロールする事、又、持久力、瞬発力、判断力を養うために鬼ごっこをして遊ぶ

人間関係：友だちと関りながら、共通の遊びに向かって一緒に取り組む

環境：身近な秋の自然に触れ、興味を持ったり遊びに取り入れようとする

言葉：友だちと言葉を交わしながら伝え合い、遊ぶ事を楽しむ

表現：様々な材料や用具を使って作品作りをし、自分のイメージしたものを表現する
楽しさを味わう

<年長組> ねらい：秋から冬へと季節の変化に留意し、健康で快適に過ごす

健康：病気予防や自分自身の健康に興味を持ち、手洗いうがいなど自分で出来る事は
率先してやろうとする

縄跳びやマラソンで全身を使って体力作りをする

人間関係：個々の意見を出し合う中で、自分とは違う意見にも耳を傾け、受け入れながら
話を進めようとする

環境：数字や文字の読み書きに慣れ、時計に興味を持ち、自分で時間を確認しながら
過ごす

言葉：言葉で気持ちを伝え合う事の充実感を味わい、その大切さを知る

表現：様々な材料や素材に触れ、試行錯誤しながら作品作りをする

<コアラ> ねらい：経験した事、感じた事、想像した事を自分なりに様々な方法で表現する
健康：生活の中での簡単な決まりを友だちと一緒に過ごしながらかんじて覚えていく

人間関係：物の取り合い等の友だちとのトラブルの中で、保育者の仲立ちで自分の思いを伝えたり、相手の気持ちを知っていく

環境：移動動物園を通し、クラスの仲間や保育者と一緒に安全に気を付け、エサやりや触れ合いながら命の大切さを知る

言葉：自分の気持ちや体調の変化、困っている事やしてほしい事を保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする

表現：作品展の制作や絵画などの作品を作っていく過程で、物の色、形、大きさに気付き興味や関心を持って仕上げる

<つぼみ1>ねらい：変化しやすい気温に注意しながら快適に過ごす

作品展の作品作りを通して物を作り出す喜びを感じる

健康：鼻水が出たことを知らせたり、自分から進んで清潔にしようとする

戸外で元気よく目標まで走ったり、保育者を追いかけて走る向きを自在に変えることができるようになる

人間関係：友達に興味を持ち、同じ遊びをしようとする

環境：戸外遊びで探索活動をし、木の葉の色の違いに気付く

言葉：玩具の貸し借りで手振りや「ちょうだい」「かして」と声に出して伝えようとする

表現：紐通しや染めがみなどで作品作りを楽しむ 自分の作品を完成させ、達成感を味わう

<つぼみ2>ねらい：秋の自然に興味を持ち、季節の変化を自分で探したり感じたりする
友だちとの関わりを深める

健康：感染症予防の為に、うがいと手洗いの習慣をつける

「走る」「蹴る」「ジャンプ」「ぶらさがり」などで体力づくりをする

人間関係：クラスの友だちについて知る（保育者の言葉がけにより、活動の中で友だちの行動や作品に注目する）

環境：様々な素材に興味を持ち触れながら、その特徴について話したり使い方を工夫しようとする

言葉：自分の思いを友だちに伝えようとしたり、相手の話を最後まで聞くようになる
絵本や手遊び、カードなどの言葉を真似て言いながら物の名前を覚えたりはつきりと発音ができるようになる

表現：楽器の正しい持ち方やならしかたを覚え、秋の歌や好きな歌に合わせてならすことを楽しむ

